

事業総点検 点検結果一対対応況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
外部 (群1)	地域防災力向上支援事業(下記の4事業の総括)			全体に必要な事業である。	万遍なく公平というよりも、要援護者や高齢者など必要箇所を重点的に支援するという公平性の観点で考えていただきたい。	共助をいかに進めていくのかという観点で政策を見直していただければよいのではないかと。	民間委託することで地域とのつながりが希薄になることを危惧するよりも、むしろ専門的なノウハウを活かすということで積極的に推進していかかか。コンサルへの委託については、その精度の検証も大事である。	ハザードマップ作成など費用をできるだけ抑える努力として、印刷時の広告や協賛金の募集をするなどの財源確保をしていただきたい。	下記のとおり
外部1	地域防災力向上支援事業	危機管理課	①市民防災意識普及啓発事業 ②自主防災リーダー育成事業 ③地域防災マップ作成 ④災害対策研修(管理職、一般職員) ⑤災害時要援護者宅家具固定事業	災害時要援護者宅の家具固定などは効果を上げていると理解している。	要援護者への情報伝達は未だ不十分な部分があるのではないかと。万遍なく公平というよりも、要援護者や高齢者など必要箇所を重点的に支援するという公平性の観点で考えていただきたい。	指摘事項なし	民間委託することで地域とのつながりが希薄になることを危惧するよりも、むしろ専門的なノウハウを活かすということで積極的に推進していかかか。	指摘事項なし	地震発生時の避難に当たっては身の安全の確保が重要であることから、災害時要援護者宅家具固定事業のPRを積極的に行う。要援護者に向けた講演・訓練も実施しており、今後も要援護者対策の充実に努めたい。市の考え方等を取り入れた講習等を行うことから、民間委託にはなじまないが、他事業においては専門的な知識・視点が必要なことから、積極的な活用を検討したい。
外部2	自主防災隊資機材購入事業	危機管理課	新規防災隊1隊へ防災資機材庫のほか、災害時に活用できる資機材を配備するもの。	指摘事項なし	資機材購入額の上限が一律100万円となっているが、自治会の規模に応じて補助する形で幅をもたせた方がより公平だと思うがいかがか。	防災訓練時に自主防災隊の資機材の内容をチェックすることも必要ではないかと。	指摘事項なし	指摘事項なし	自主防災隊未結成地区は残り5地区であり、過去の資機材配備地区との公平性から、資機材購入の上限額は現状のままとした。自主防災隊の資機材のチェックについては、訓練の実施報告時などに併せて使用資機材の点検等を兼ねるようにしたい。
外部3	避難対策事業	危機管理課	①地域防災計画改定に係る業務委託 ②職員を対象とした図上訓練の実施 ③市民・自治会を主体とした津波避難訓練の実施 ④海拔表示シールの設置	公共性もあり大事な事業である。市民を対象としているが、もう少し広い需要で昼間に伊勢市に来ている人も含めて考えてはどうか。	指摘事項なし	数値目標については、施設数だけでなく収容人数も設定してはどうか。居住地(夜間人口)からの避難と勤務先等(昼間人口)からの避難など、多面的に避難ルート等を考えていただきたい。防災ハザードマップの作成については、市と自主防災隊や地域の団体が意見交換しながら一緒に作り上げることで「共助」を育てていただきたい。	コンサルへの委託については、その精度の検証も大事である。信憑性や精度を何らかの形で測れるようにすれば、市民からより一層信頼を得られる。	ハザードマップ作成など費用をできるだけ抑える努力として、印刷時の広告や協賛金の募集をするなどの財源確保をしていただきたい。	地域防災計画の改訂作業において、伊勢市を訪れる方についても、市民と同様に対策を検討していく。津波緊急避難所の確保が急務であり、現時点においては、施設数を数値目標とする。市と地域とが共同でタウンウォッチングなどを行い、各地域での避難ルートの検証を行っている。防災ハザードマップについては、講習会や訓練を通じて市民と内容を共有し、「自助」「共助」の向上を図る。
外部4	応急手当普及啓発事業	消防総務課	応急手当法の普及啓発により、心肺停止傷病者等の救命率向上を図るもの。	市民同士がお互いに助け合うという形は共助という考え方に基づく部分であり良い活動である。	指摘事項なし	講習会の受講は、時間的にも体力的にも大変である。若い人の講習受講率を向上させるため、大学や高校の学園祭で講習会を開催するような働きかけをしてはどうか。応急手当指導員の養成を今後も進めていただきたい。	AEDのメーカーに講習を委託することも可能なのではないかと。	指摘事項なし	現在、事業所職員、学校教員等応急手当普及員若しくは、指導員の資格取得を促しています。社会的ニーズから平成26年度においても引続き実施します。AEDのメーカーへ民間委託しての普及活動は、資格取得者が居ないのが現状であり、販売、製造メーカーでの対応は、現在のところ難しいと考えます。

事業総点検 点検結果－対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
外部 (群2)	学力向上・不登校対策事業(下記の3事業の総括)			指摘事項なし	指摘事項なし	市の目指す教育水準を設定して3年間での達成を目指すなど、具体的な目標設定ができるとよいのではないか。 不登校の未然防止がどれぐらいできているのか把握していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	下記のとおり
外部5	学びのグレードアップ総合推進事業	学校教育課	児童生徒の学力を向上させるために、学力検査を全小中学校で実施し、きめ細かな指導に生かすとともに、研究指定校5校で新教育課程一般について研究を進め、授業改善事例集を作成する。特定の教育課題に対する教育力向上のために、研究指定校4校圏で研究を進める。	指摘事項なし	指摘事項なし	三重県の学校満足度アンケートによる授業内容の理解度を目標として設定しているが、CRTの方が適切なのではないか。 市の目指す教育水準を設定して3年間での達成を目指すなど、具体的な目標設定ができるとよいのではないか。 教育力の向上についても目標を設定していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	数値目標を、教師の教育力の向上の結果、子どもの学力検査の結果に現れると考え、市のめざす教育の水準の目標と教育力の向上についての数値目標として、CRTにおいて努力を要すると診断される子どもの割合に変更した。
外部6	スクールサポート事業	教育研究所	・教職経験者や臨床心理士、専門的知識や経験を有する人材を学校に派遣し、学校長と連携をとりながら、学校経営に対する助言およびきめ細かな生徒指導体制の充実・強化の支援を図るなど、各学校の教育力を高める。 ・児童・生徒の教育、不登校等の問題に関する相談に対応し、問題の早期解消を支援する。	指摘事項なし	指摘事項なし	不登校の未然防止がどれぐらいできているのか把握していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	「不登校対策ハーモニーハート総合推進事業」と連携し、同事業で実施する不登校児童生徒現状分析委員会で、不登校児童生徒の現状や未然防止状況、ニーズ等を把握する。
外部7	不登校対策ハーモニーハート総合推進事業	教育研究所	登校しぶり、ひきこもりや、学校に行きたくても行けない児童生徒の社会的自立を目指した学校復帰を支援する。また、併せて不登校の未然防止を目的とした取り組みを行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	不登校の未然防止がどれぐらいできているのか把握していただきたい。 相談件数が減った場合は、ニーズが減ったのか、支持されなくなったのかなど、その理由を把握できるようにするべきである。	指摘事項なし	指摘事項なし	不登校児童生徒の現状や未然防止状況、ニーズを把握し、今後どのような対策が必要なのかを検討するため、不登校児童生徒の現状を分析する委員会を設置する。
外部 (単独)	・人権施策推進事業 ・子ども人権フォーラム21開催事業 ・職員研修事業			下記のとおり	下記のとおり	下記のとおり	下記のとおり	下記のとおり	下記のとおり
外部8	人権施策推進事業	人権政策課	伊勢市人権施策推進協議会の開催と協議会の負担金支出。	人権問題は多様化しており、社会的需要は認められる。人権啓発は地道な活動であるがとても大事なことである。 起こっている人権問題の傾向を把握し、そこに重点的に対応する施策を提供していくという少し柔軟な対応を社会的需要の観点から求めたい。	指摘事項なし	起こっている人権問題の傾向を把握して、そこに重点的に施策を提供するなど少し柔軟な対応をしていただきたい。 啓発により発信した効果を把握するためにも、情報収集に力を入れた方がよいのではないか。 数値目標を設定してはどうか。	現状では極めて難しいということであるが、全ては難しくても一部を民間委託することを検討してはどうか。	指摘事項なし	多様化する人権問題に対応し、啓発等を効果的に実施するために協議会の各委員及び幹事からの意見などに対し、より柔軟に対応していきたい。

事業総点検 点検結果—対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
外部9	人権教育子ども輝きプラン総合推進事業 (事業統合：子ども人権フォーラム21開催事業、中学校区ヒューマン・ライツ推進事業)	学校教育課	・中学校区人権教育推進事業 ・子ども人権フォーラムの開催 ・小中学校人権作文集「人権の芽」の作成 ・教師用指導資料の作成	子ども人権フォーラム21開催事業：非常に良い事業でありぜひ続けていただきたい。	子ども人権フォーラム21開催事業：公平性を保つためには各校での事後指導が重要であるため、どのような形で行うのかについて気にかけていただきたい。各校からの次年度への要望などを吸い上げる仕組みが必要なのではないか。	子ども人権フォーラム21開催事業：数値目標については、各校で選流報告を受けた後の人権に対する意識の高まりであるとか、満足度などをアンケートで測定して設定してはどうか。	子ども人権フォーラム21開催事業：指摘事項なし	子ども人権フォーラム21開催事業：指摘事項なし	例年、参加児童生徒の満足度は、95%を越えているが、各校での関連学習の内容のさらなる充実に努めていきたい。
外部10	職員研修事業	職員課	地方分権型社会に対応する職員を育成するため、伊勢市人材育成基本方針・人材育成アクションプランに基づき、研修計画を構築し、実施する。	指摘事項なし	指摘事項なし	OJTとOFF-JTとの繋がりを明確にするとよいのではないかと。一般研修の意識向上度が低いのではないかと。研修の情報幅広く集める努力をしていただきたい。5つの職員像を掲げている以上は、その目標に近づいているのかどうか何らかの方法で把握していただきたい。	指摘事項なし	庁内講師をもっと育成すれば費用負担が抑えられるのではないかと。地元の企業と研修を合同開催して費用を負担し合ってはいかがか。	日常業務における、上司の部下に対するOJTを適切に行うことで、自身の強み・弱みが明確となり、それを補うための手段としてOFF-JTを生かすことができると考える。このことから、職場単位におけるOJTの充実を促し、研修効果の発現に繋がりたい。
内部1	防犯推進協議会活動経費	危機管理課	「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」に基づき「防犯推進協議会」を設置して、条例の目的を達成するために事業計画を策定し、各防犯事業を実施する。	協議会の設置がどのように「安全で安心して暮らせる市民の生活を確保」することにつながるかについて、自己評価に記述していただきたい。	指摘事項なし	可能な限り目標設定をしていただきたい。	条例設置し市が実施する方法を取っているが、協議会が独立して自主運営することを促せないか、その可能性について検討していただきたい。	指摘事項なし	社会的需要・・・当協議会で策定された事業計画を関係機関を通じて推進できる。関係機関を通じて児童生徒から老人まで幅広く市民への啓発等が可能である。 業務改善・・・窃盗犯罪件数の減少のために啓発の効率化、自主防団団体活動数の増加を図る。 民間委託・・・条例化していることで、関係機関からの協力が得られやすい。
内部2	防犯灯設置等補助金	危機管理課	自治会が設置、維持管理する防犯灯について「伊勢市防犯灯整備事業補助金」及び「伊勢市防犯灯助成金交付要綱」に基づき補助を行う。	防犯灯設置により、市民生活の安全性にどの程度寄与しているか、効果を把握していただきたい。	指摘事項なし	補助金の性質上、終期の設定が必要である。補助率等が妥当かどうか検証していただきたい。	指摘事項なし	引き続きLED化による経済的な効果の検証をしていただきたい。一般財源が大きい為、受益と負担の割合を見直していただきたい。	社会的需要・・・市民アンケートを通じて、効果を把握したい。 業務改善・・・平成33年度までにLED化を推進し、助成制度の内容を検証していく。また、補助率等の検証も行う。
内部3	住宅・建築物耐震改修等促進事業	危機管理課	倒壊の危険性の高い木造住宅の耐震化を促進するため、無料耐震診断を実施し、耐震補強設計策定や耐震補強工事に要する費用の一部を助成する。また、防災対策上重要または市民の生命の安全を確保する上で重要と考えられる民間建築物の耐震化支援を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	目標として「伊勢市耐震改修促進計画による」とあるが、数値目標を記載していただきたい。自己評価にあるとおり補助金制度の整理を進めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	伊勢市耐震改修促進計画に基づき、平成27年度末までに木造住宅の耐震化率の90%を目指す。また、制度開始以来使用実績のない準耐震補強工事を廃止することによりスリム化を図り、また、一定の目処のついた民間保育所・幼稚園の耐震診断補助の要綱を改正し、民間保育所・幼稚園だけでなく、他の公民館等の耐震診断補助の検討を行う。

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部4	避難所等整備事業	危機管理課	災害時の避難所の充実をさせ、迅速、安全に市民が避難できる環境を整備する。	指摘事項なし	指摘事項なし	可能な限り目標設定をしていただきたい。 (施設数、避難可能人数など)	指摘事項なし	指摘事項なし	津波避難対策として、平成24年度に津波浸水想定(M=9.0三重県作成)から避難困難者の抽出を実施した。7,574人の避難困難者に対して7地区に津波避難施設を整備することで、理論上の避難困難者が解消する。ただし、避難困難者の抽出方法について、平成25年度に指針が示されたことから、避難困難者数については精査が必要となっている。
内部5	行財政改革推進事業	情報調査室	市の行財政改革を推進し、効率的で効果的な行政運営を目指します。 (1)第二次行財政改革大綱の総括及び今後の取組み方針等の策定 (2)行財政改革に伴う各種審議会等の運営	指摘事項なし	わかりやすい広報等により効果の周知に努めていただきたい。	3カ年で実施している事業総点検を今後にどういかしていくか、検証が必要である。	指摘事項なし	指摘事項なし	第二次行財政改革大綱実施計画と事業総点検の取組期間が平成25年度で終了するため、その検証を行う。 わかりやすい広報により、効果の周知に努める。
内部6	伊勢・渥美地域間交流事業	行政経営課	伊勢志摩地域と渥美地域との地域間交流の推進 ○少年野球大会による交流 夏季：伊勢市での大会開催 秋季：田原市での大会開催	三重県版事業仕分けを受け同盟会が休止していることもあり、伊勢・渥美地域間交流事業の必要性は無く、社会的需要は低い。	地域間交流の手段として野球だけに拘る必要はなく、他のスポーツや文化活動でも目的達成が可能である。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	これまでに培われた民間レベルでの交流は、今後、多様な方面への展開につながることも期待されることから、引き続き、少年野球も含めた様々な交流手段も検討しながら継続していく。
内部7	ふるさと応援寄附推進事業	行政経営課	・ふるさと応援寄附金の受入を行う。 ・ふるさと応援寄附金獲得のためのPRを行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	記念品の発送等、業務の切り分けを検討いただきたい。	記念品の発送等、業務の切り分けを検討いただきたい。	指摘事項なし	他市町の状況も参考に、業務の切り分けを検討している。
内部8	インターネット情報発信事業	広報広聴課	市ホームページのシステム使用と運用管理にかかる経費	指摘事項なし	指摘事項なし	各課のホームページ掲載方法や掲載内容について、見やすく新しいものとなるよう定期的な見直しを全庁的に行う必要がある。	指摘事項なし	指摘事項なし	リニューアル後のアクセス解析結果を参考に、閲覧回数の少ないページについて、担当課へ情報の提供を行い、掲載情報の内容確認や、掲載場所の変更等の必要性について、検討する作業を全庁的に行う。
内部9	小中学校適正規模化・適正配置推進事業	教育総務課	市立小中学校の望ましい教育環境の構築と教育の質の充実を図るため、学校の適正規模化・適正配置を推進する。	指摘事項なし	小中学校の適正規模化・適正配置は地域住民の理解が重要である為、丁寧な周知に努めていただきたい。	小中学校の適正規模化・適正配置を着実に進めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	統合準備会が未設置の地域については、引き続き説明会等を開催し地域住民や保護者の十分な理解を得られるよう丁寧に対応していく。 また、統合校の開校にあたり、統合準備会での地域住民や保護者の意見を可能な限り取り入れ、事業の円滑な推進を行う。また、統合準備会での協議事項等については、広報誌(統合準備会だより)や市ホームページ等により広く周知を図る。
内部10	奨学金育英事業	教育総務課	大学または高等専門学校・高等学校に在学する優良な学生で、経済的理由により修学が困難な者に対して、奨学金を支給する。	指摘事項なし	指摘事項なし	現状では財源面から制度を安定的に継続していくことが厳しいと思われるため、持続可能な制度のあり方を検討する必要がある。	指摘事項なし	寄附金の増収で財源確保に努めていただきたい。	制度の安定的継続を目指すため、H25には市奨学金制度の概要や申込方法を記載したパンフレットの作成及び配布、また市教育委員会ホームページへの掲載、さらには各種会議・同窓会等での呼びかけなど周知方法の拡大を図り、寄附金の増収及び財源の確保に努力していきたい。

事業総点検 点検結果—対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部11	空調設備整備事業 (小学校費)	教育総務課	市立小学校の教育環境の向上	指摘事項なし	指摘事項なし	数値目標を設定し、計画的な事業実施が見えるようにしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	空調設備の有無による学校間格差の是正と、近年の地球温暖化による夏季における熱中症等、子どもたちの健康管理の面からも早期に空調設備の整備を完了させる。なお、整備の時期は、平成24年度から着手し、先ず幼稚園及び教育環境が劣悪な防音校舎を優先する。また、整備方式に当たっては「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画」との整合を図った上で、国の補助金や合併特例債等を活用することで財政負担等も考慮しながら、平成27年度までに整備を完了させる予定である。
内部12	空調設備整備事業 (中学校費)	教育総務課	市立中学校の教育環境の向上	指摘事項なし	指摘事項なし	数値目標を設定し、計画的な事業実施が見えるようにしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	空調設備の有無による学校間格差の是正と、近年の地球温暖化による夏季における熱中症等、子どもたちの健康管理の面からも早期に空調設備の整備を完了させる。なお、整備の時期は、平成24年度から着手し、先ず幼稚園及び教育環境が劣悪な防音校舎を優先する。また、整備方式に当たっては「伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置基本計画」との整合を図った上で、国の補助金や合併特例債等を活用することで財政負担等も考慮しながら、平成27年度までに整備を完了させる予定である。
内部13	非核・平和運営事業	学校教育課	広島平和記念式典に市内中学校から各校2名を派遣し、参加報告会を開催したり、報告作文集を発行したりして、中学生はもちろんのこと、広く市民に核兵器の廃絶、平和の尊さと維持することの重要性を訴える。	非核平和都市宣言を行った市として重要な取組みである。	指摘事項なし	中学生に直接体験する学習の機会を与える意義深い事業である点から、より効果的な実施方法の再検討をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	非核平和空襲展のなかで、報告会を行う等、さまざまな機関と連携を図り実施しているが、今後もより多くの市民の皆さんへ報告会への参加を呼びかけていきたい。また、各中学校においては、参加生徒からの報告内容を充実させていきたい。
内部14	人権教育研究委託経費	学校教育課	人権教育実践研究団体に、人権教育の研究や研修をより深く実践的に進めるため、実践研究や指導者向け研修会等の事業を委託する。 【委託先】伊勢市人権・同和教育研究会	指摘事項なし	指摘事項なし	研究成果を各学校の教育実践に反映するための数値目標を設定していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	各ブロック毎の研修会開催について、達成率を数値化し、実践交流会での研修会の成果と合わせ教育実践に反映していくこととしていく。
内部15	教科書等購入経費 (小学校費)	学校教育課	教師用「教科書」と「指導書」を購入することにより、効果的な指導を支援し、児童に学習内容の確実な定着を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部16	教科書等購入経費 (中学校費)	学校教育課	教師用「教科書」と「指導書」を購入することにより、効果的な指導を支援し、生徒に学習内容の確実な定着を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部17	食育推進事業	学校教育課	学校における食に関する指導の支援 食育担当者対象講演会	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部18	社会教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	・伊勢市社会教育委員会議の運営 ・伊勢市女性団体連絡協議会・飯田市婦人会との交流会事業	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部19	総合型地域スポーツクラブ育成事業	生涯学習・スポーツ課	それぞれの地域において、「いつでも」「どこでも」「いつまでも」、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境を作ること、市民の体力の維持・向上はもとより、健康づくりや仲間づくり、子どもたちの人間形成や地域コミュニティの強化、医療費の削減等の効果を期待する。	総合型地域スポーツクラブを育成することの社会的需要について、説明できるように整理していただきたい。	指摘事項なし	育成事業であることから、事業の全体目標（最終年度）を明記すること。 自己評価にあるとおり、運営状況のチェック体制を強化し、支出根拠の精査をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	三重県広域スポーツセンターとの連携を強化し、未設置の学区に新たなクラブの設立を働きかけるとともに、支援開始から一定年数経過後の財政状況等のチェックを行い、支援負担金額の段階的見直しを検討する。
内部20	スポーツ推進審議会開催事業	生涯学習・スポーツ課	市の諮問に応じてスポーツの推進に関することを審議する。	市がスポーツ推進審議会を開催する必要性を整理していただきたい。	指摘事項なし	審議会の評価を受けて、スポーツ事業がどのように改善されていくのか概要に分かりやすく記載いただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	審議会開催の必要性については整理されたが、審議会評価から実施計画へフィードバックさせる方策を再度検討中。
内部21	スポーツ国際交流推進事業	生涯学習・スポーツ課	スポーツを通し、子ども同士の国際交流を実施する。	指摘事項なし	公平性の観点から、毎年度同種目であることについて、再検討していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	毎年度同種目ではあるが、他種目からの要望がなく、事業自体の見直しも検討していく。
内部22	文化財保存整備事業補助金	文化振興課	市内に所在する指定文化財の保存修理等にあたって所有者へ補助金を交付する。 平成26年度は2件の文化財の保存修理費等に対して補助金を交付する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	寄附金を募るなど企業や個人からの社会的貢献を促し財源とできるような仕組みを検討していただきたい。	企業や個人からの社会的貢献を促し財源とできるような仕組みを調査していく。
内部23	文化財案内板設置事業	文化振興課	市内の旧跡等の文化財に対し、文化財案内板等を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図る。 平成26年度は、新たに史跡案内板1基を設置し、既設旧跡案内板1基の裏面に案内板を取り付ける。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部24	各種資機材購入経費	消防総務課	各種消防用資機材・救急用資機材・救助用資機材の不足分の補充、老朽化機材の更新、最新鋭の機材を導入することにより災害時における対応を、より迅速・確実・安全に行います。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部25	消防本部庁舎新設事業	消防総務課	平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、手狭で老朽化した消防本部庁舎を津波の影響のない高台にある倉田山防災公園に移転し、消防本部機能を充実させるとともに、消防・防災学習室等公園整備と一体に行うことにより、本市の防災機能の強化を図るものです。	指摘事項なし	指摘事項なし	ライフサイクルコスト低減の観点から、管理しやすい施設整備に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	消防本部、消防署の活動拠点として機能本位のシンプルな施設整備を進めていきます。 また、公園整備事業と一体的に整備することにより、全体事業費削減を図っていきます。

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部26	各種資機材購入経費	消防総務課	消防団車両積載の消防用ホース等資機材を年度計画に基づき更新することにより、消防団活動を効率よく推進する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部27	消防団車庫改修事業	消防総務課	随時、消防団車庫の補修・改修等を行い、災害時における機能維持を目的とした事業です。	指摘事項なし	指摘事項なし	適正規模の車庫整備に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	各消防団車庫の主な改修は、耐震診断結果に基づくものや、下水道管が埋設されたために繋ぎ込み工事をしなければならなくなったのが理由です。これらの工事についても、防災拠点の機能維持を目的としていることから原型復旧を原則としています。
内部28	消防署庁舎改修経費	消防総務課	消防本部(署)庁舎、各分署、出張所の庁舎を改修し消防署としての機能維持を図ります。	指摘事項なし	指摘事項なし	メンテナンス記録をつけるなど、長寿命化に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	消防署の改修は、経年により劣化した建物を修繕します。これらの修繕は、防災拠点の機能維持として、また、職員の衛生管理を目的としています。改修は原型復旧を原則とし必要に応じて事業を進めていきます。建物の修繕履歴については、消防本部にて引続き管理しており、適正に整備することで建物の長寿命化を図ります。
内部29	地域自治推進事業	市民交流課	ふるさと未来づくり推進計画の検証を行い、新たな地域自治の仕組みとしての制度を確立させる。また、取り組みの全市的な広がりを目指し、リーダー養成講座を開講するとともに、学識経験者等による講演会など啓発活動を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	市民への周知を強化することで地元の理解浸透をはかっていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	地区みらい会議組織の設立済み地区の増加に伴い、広報等へ掲載することも増えてきたことにより、市民への周知は広がりつつあるが、まだまだ、十分とはいえない状況と認識している。広報、ケーブルテレビを活用し、さらに啓発を進めるとともに、報道機関へも設立済み地区の活動状況の情報提供を積極的に行っている。
内部30	男女共同参画推進一般経費	市民交流課	男女共同参画に関する会議や研修会に参加し、最新事例等の情報交換を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	れいんぼうルームの認知度を向上させるため、その設置目的や内容について一層の周知をはかっていただきたい。	事業目的である男女共同参画社会実現のための意識高揚は、企業のイメージアップにつながる取組みとも考えられるため、連携を深めることを検討していただきたい。	指摘事項なし	25年度かられいんぼうルームを活用した「れいんぼうカフェ」の開催を始めた。今後も継続し男女共同参画発信の拠点として活用していきたい。三重県の制度である「男女がいきいきと働いている企業登録制度」の登録企業を中心に企業訪問し、連携した取り組みを進めている。
内部31	市民活動促進事業	市民交流課	市民をはじめ、NPO・ボランティア団体の協力を得ながら、「市民参画」「協働」によるまちづくりの実現を目指す。いせ市民活動センター業務の指定管理者への委託	指摘事項なし	指摘事項なし	いせ市民活動センターの利用率を上げることが、指定管理者のメリットとなるようなインセンティブの工夫を検討していただきたい。	指摘事項なし	いせ市民活動センターの利用率を高める一層の努力をしていただきたい。	いせ市民活動センターの利用者は24年度と比較すると減少しているが、ただちに市民活動が縮小しているとは言い切れない。中間支援施設として市民公益活動増進のための役割を果たせるよう、運営委員会でも助言等を求めている。音響設備の老朽により不便が生じているため、更新したいと考えている。
内部32	コミュニティ助成事業補助金	市民交流課	(財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業である集会施設の建設整備やコミュニティ活動備品の整備等に対するコミュニティ助成事業助成金を市の財源として、(財)自治総合センターから助成金の決定を受けた自治会等に市が補助金を交付する。	指摘事項なし	指摘事項なし	補助金の活用がより一層有効なものとなるように、各自治会に十分な周知をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	財団の助成金交付申請に関する通知から、提出期限まで期間が短く、広報等を使つての周知ができないため、各自治会へ直接送付している。また、事前に問い合わせなどあった自治会には個別に説明を行う。

事業総点検 点検結果－対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部33	総連合自治会運営補助金	市民交流課	加盟自治会（163自治会）の連絡調整等の事業活動を支援するため補助金を交付する。 ・地域美化・地域安全活動などコミュニティ活動増進への支援。 ・相互連携・研修事業等にかかる会議の開催。	平成21年度に策定された補助金等の交付に関する基本指針及び補助金等の交付基準に照らし合わせ、補助金の必要性を再度確認していただきたい。	指摘事項なし	平成21年度に策定された補助金等の交付に関する基本指針及び補助金等の交付基準に照らし合わせ、補助金の必要性を再度確認していただきたい。	将来的には事務局の事務を総連合自治会で担っていただくよう検討していただきたい。	指摘事項なし	これまでの伊勢市と総連合自治会との連携や関係性では、早期の補助金見直し（減額、廃止）は困難であり、早期に、事務局を総連合自治会で担っていくには、組織の構成等から困難である。しかしながら、県内他市の状況も調査しながら、将来的には、事務局を担っていただくなど検討をしていく
内部34	災害ボランティア支援事業	市民交流課	大規模な災害時等に開設する「伊勢市災害ボランティアセンター」の設置・運営に備えた講習会や運営訓練等を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部35	太陽光発電普及促進事業	環境課	一般家庭及び事業所における太陽光発電設備普及促進のため、太陽光発電設備設置者に対し補助金を交付する。 60千円×300件＝18,000千円	補助金の交付が太陽光発電普及促進におけるインセンティブとして作用しているか検証をしていただきたい。	指摘事項なし	将来的な補助金交付の終期の設定や、補助金以外の普及促進の手段も検討していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	補助金交付者を対象にアンケートを行っており、補助金の効果は検証している。今後もアンケートを活用し、金銭的な補助のみでなく、情報提供に努め、太陽光発電システムの普及啓発を続けたい。
内部36	エネルギー教育促進事業	環境課	各校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、要する経費を支援する 上限20千円×36校＝720千円	当初の予定どおり、一定期間の後にその後の事業のあり方について検討していただきたい。	指摘事項なし	児童・生徒だけでなく、その保護者の参加も促すなど、エネルギー教育の促進に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	3年間の効果の検証を行い、各校への支援については当初の予定どおり、平成27年度以降は廃止する方向で検討したい。支援の廃止後も、エネルギー環境教育に関する情報提供など、各校での取組を促進するようサポートは継続したい。また、平成26年度は保護者の参加も促すよう、各校へ案内したい。
内部37	犬猫不妊手術費等補助金	環境課	犬猫の不妊去勢手術実施者に対して費用の一部補助を行う。 補助金額 犬オス3,000円、犬メス4,000円、猫オス2,500円、猫メス3,500円	指摘事項なし	指摘事項なし	飼育者の意識を高めるため、捨て犬・捨て猫の防止のための意識啓発をすすめていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	動物愛護週間や狂犬病予防集合注射案内時に広報等で捨て犬・捨て猫防止のための意識啓発を続けていきたい。
内部38	共同墓地整備事業補助金	環境課	共同墓地内のごみ集積所、水汲み場、通路等の共同利用施設の設置等の環境整備を実施した墓地管理自治会等に対して補助金を交付する。 ・補助率 1/3（上限3,000,000円）	指摘事項なし	指摘事項なし	共同墓地の管理者が不在のところについては、引き続き協議をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	管理者が不在の共同墓地については、自治会等と協議しているが未解決であるため、解決に向け協議を続けていきたい。
内部39	エコドライブ普及推進事業	環境課	環境にやさしいクリーンな車環境の実現のため、エコドライブ実践を行うとともに、市民、事業者に対して情報発信や講習会の開催等を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	エコドライブ講習会を例えば他のイベントと同時開催するなど、講習会への参加促進やより効果的な事業実施ができないか検討していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	講習会は、時間も長く一定の環境が必要であるため他のイベントと同時開催することは難しいが、ホームページの活用や市内の事業所へ呼びかけを行い、参加促進や効果的な実施につなげていきたい。
内部40	不法投棄防止対策推進事業	清掃課	不法投棄は、美観はもとより水質、土壌への影響が危惧されているため、不法投棄の防止及び不法投棄された廃棄物の撤去及び適正処理を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	不法投棄の防止について、啓発に力を入れていただきたい。	不法投棄された廃棄物の撤去については民間委託が行えないか検討していただきたい。	指摘事項なし	警察との連携が必要であり、投棄物の種類・投棄場所が多岐にわたるため、委託が難しく一般収集・資源回収の中で対応している。啓発マグネットシートを作成して、じん芥収集車に貼付して啓発を行う。

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部41	ごみ減量化容器設置補助金	清掃課	生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器購入者に対し、購入額の1/2、30,000円を限度として助成金を交付している。	指摘事項なし	指摘事項なし	既助成者に対して、ごみ減量化容器の活用度等について追跡調査を行うなど事業手法の有効性の検証をしていただきたい。 事業目標値の設定を可能な限り行っていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	ごみ減量化容器の活用状況について、アンケート調査を行うことにより現状を把握し、有効性を検証していきたい。(調査対象：H23年度～H25年度の3年間に助成した約300人)
内部42	再資源分別回収事業	清掃課	資源物回収業務を円滑に行うための維持管理経費	指摘事項なし	指摘事項なし	更なる収集コストの減少に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	合特法による代替業務として、平成26年度から新たに二見地区における資源物回収業務を外部委託するにあたり、回収効率を高めることによるコスト低減を図る。
内部43	じん芥収集車購入事業	清掃課	使用不能に近い車輛から、毎年計画的に買い替えを行い収集業務の効率を上げ市民サービスの向上を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	今後もじん芥収集車の耐用年数の経過や、業務の外部委託化に合わせた適切な台数管理に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	今後もじん芥収集車の耐用年数の経過や、業務の外部委託化に合わせた適切な台数管理に努める。
内部44	訪問指導事業	健康課	がんの要精密検査者や健診の結果保健指導が必要な方を対象に、保健師等が家庭を訪問し、個人の生活習慣に応じた保健指導を実施し生活習慣病等を予防する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部45	発達支援教室事業	健康課	発達の遅れや広汎性発達障害をもつ幼児と保護者を対象に、幼児の早期療育と保護者への支援を行うための1歳6か月児健康診査後の事後教室。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部46	新生児等訪問指導事業	健康課	不安の多い新生児期や発達の遅れ等のある乳幼児を対象に、安心して育児ができるよう各家庭を訪問し保健指導を実施する。	指摘事項なし	指摘事項なし	訪問により育児不安の軽減となった件数等の実績について、事業概要に記載をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	H24年度新生児訪問を実施した約半数が心配ごとをもっており、専門職に相談することで不安の軽減につながった。 また、H24年度は、育児支援の継続訪問で延79人の方に支援を行なった。 H26年度は産後うつなど、母親のメンタルヘルスを尋ねる質問票を活用し、不安の把握と軽減に努めたい。
内部47	不妊不育治療費助成事業	健康課	不妊不育治療を行っている夫婦に対し、医療費の一部を助成する。 ・助成率 自己負担額の5割(上限額10万円)	指摘事項なし	助成対象者の適正な把握をしていただきたい。	助成効果の把握と検証をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	今後も妊娠・出産につながった状況の把握と、申請時に提出される書類等をもって、対象者の適正な把握に努めていく。
内部48	出産資金貸付事業	医療保険課	出産育児一時金の支給を受けるまでの間、出産資金を貸し付けることにより、被保険者の経済的負担が軽減できる。 貸付金は無利子であり、その償還は、出産育児一時金の一部を充てることにより、償還は完了する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし

事業総点検 点検結果一対対応況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部49	子ども医療費支給事業	医療保険課	0歳児から小学校卒業までの対象者に入院及び通院にかかる医療費の全額と、中学生の対象者の入院にかかる医療費の全額を助成する。	指摘事項なし	指摘事項なし	子ども医療費支給の実績の把握と効果の検証を行っていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	助成対象拡大が平成24年9月からであったため、平成25年度予算編成時には拡大後の支出実績が無い中での見積もりであったため、結果として過大な予算計上となった。平成26年度は1年を通しての支出実績により、精査し予算計上を行った。
内部50	訪問介護利用者負担支援事業	介護保険課	国からの通知、市要綱に基づき、介護保険で訪問介護を利用する低所得の障がい者に対し利用者負担額の軽減を行い、訪問介護の継続的な利用の促進を図る。(県補助事業：補助率3/4)	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部51	保護司会活動経費	生活支援課	保護司会活動に伴う各種関係団体への会費等経費の負担	指摘事項なし	指摘事項なし	自己評価にあるとおり、保護司候補者の確保に努めていただきたい。 負担金の適正な活用について把握していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	保護司候補者の確保については、保護司候補者検討協議会(自治会関係者、保護司、民生委員・児童委員等により組織)において保護司の活動に対する地域の理解を求め、幅広い人材から候補者を確保していただきたい。各種関係団体会費等経費負担金の適正な活用について、各種関係団体の収支決算報告書の把握に努めたい。
内部52	権利擁護事業負担金	生活支援課	三重県社会福祉協議会からの受託事業。伊勢市社会福祉協議会が伊勢市・玉城町・度会町・大紀町を範囲とする基幹的権利擁護センター(南勢志摩地域権利擁護センター)となり、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、重要書類の預かりサービスを提供。	指摘事項なし	指摘事項なし	支援の必要な人がサービスを受けられるよう周知に努めていただきたい。 今後も実績の把握に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業内容について、伊勢市社会福祉協議会各支所においてパンフレット設置、社協HPにて掲示等行っているが、今後、広報いせ等で周知するよう努めたい。今後も社会福祉協議会において実績の把握に努めていきたい。
内部53	福祉ボランティア育成事業	生活支援課	市民ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを設置し、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉の担い手養成のため、ボランティア活動の助成及び講座の開催等を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	ボランティアリーダーの養成数など、事業の目標値の設定をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	H26年度ボランティアリーダーの養成の講座を継続・新設し、目標受講者数を設定します。 ・傾聴ボランティアステップアップ講座40名 ・福祉教育支援ボランティア養成講座20名 ・ボランティア入門講座～地域版～30名
内部54	一般保育事業補助金	子ども課	公立保育所職員と民間保育所職員の給与の格差是正や児童の安全対策費用等で民間保育所運営費(国庫負担金基準)で不足する経費を補填するため、民間保育所18園に対し補助する。	平成21年度に策定された補助金等の交付に関する基本指針及び補助金等の交付基準に照らし合わせ、補助金である必要性和補助金以外での対応ができないか検討していただきたい。	指摘事項なし	平成21年度に策定された補助金等の交付に関する基本指針及び補助金等の交付基準に照らし合わせ、補助金である必要性和補助金以外での対応ができないか検討していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	公民の同水準での保育を目的とした補助金であるとともに民間保育所運営費の補填としての負担金の要素もある。平成27年度から保育所に関する制度改正が予定されており、民間保育所運営費の国庫負担金基準の改正状況を踏まえて事業の再構築を図りたい。
内部55	休日保育事業補助金	子ども課	日曜・祝日等の休日に保育を実施する民間保育所(1園)に対し補助する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部56	民間保育所施設整備事業費補助金	子ども課	社会福祉法人が設置する保育所の新築・改築・大規模修繕等の施設整備に対し、施設整備に要する経費の一部を補助する。	指摘事項なし	指摘事項なし	今後も事業目的にかなう適正な補助に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	民間保育所において安全かつ快適な保育環境が保たれるよう支援していただきたい。

事業総点検 点検結果－対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部57	一時保育事業補助金	こども課	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、専用スペースで一時的な保育を行う民間保育所に対し補助する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部58	障害児保育事業	こども課	保育所での集団保育が可能で、かつ保育にかける障がい児について、保育所に受入れをして健常な児童とともに保育を行うため、障がい児の入所する保育所に保育士を加配する。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部59	一時保育事業	こども課	保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、専用スペースで一時的な保育を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部60	病児・病後児保育事業	こども課	児童が病気あるいは病回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで保育することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	指摘事項なし	指摘事項なし	利用者へのアンケート等で事業効果の把握に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	子ども・子育て支援事業計画策定（H27施行予定）にあたり、当事業を含めた子育て世帯へのニーズ調査を行っているところである。
内部61	こども家庭相談センター事業	こども課	児童養育・女性（DV等）・児童発達に関する種々の問題について、相談を受け、助言・指導を行う。 児童虐待通告における安全確認などの調査を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業効果の把握及び常に資質の向上に努められたい。 数値目標の設定が難しい場合であっても、相談希望者への適切な支援を行った割合など何らかの目標設定をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	相談窓口の周知及び相談件数の状況把握に努めたい。また、相談体制の強化のため研修等により職員の資質向上を今後も継続する。数値目標について、相談件数やケースの支援割合などを客観的に適正と判断できる数値目標を設定することは困難である。
内部62	軽度生活援助事業	長寿課	老衰・心身の障害及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、高齢者の在宅での生活の継続を可能にする。	指摘事項なし	指摘事項なし	他課の事業との連携や住み分けを検討していただきたい。 事業実施による効果の把握に努められたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	関係するであろう介護保険課及び障がい福祉課との連携については、両課の様々な制度の狭間を埋める事業を担っていることから、住み分けについては既にできていると考える。また効果については、その狭間の対象者を支援することにより、対象者の自立した在宅生活の維持に貢献していると考えられる。
内部63	緊急通報体制等整備事業	長寿課	虚弱なひとり暮らし高齢者や重度身体障がいのある方に対し、急病等の緊急時に迅速かつ適切に対処できるよう体制を整備し、ひとり暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図るとともに、在宅生活継続のための支援を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	実績の把握をしていただきたい。 対象者の安全確保の為、制度周知に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	新規利用者数は、過去3年で増加傾向にあり、制度周知により事業が浸透してきたと言える。引き続き民生委員児童委員や地域包括支援センター等と連携をとり、周知に努めたい。
内部64	老人福祉センター運営事業	長寿課	高齢者を対象とした高齢者教室を実施し、利用者の社会参加及び文化活動の促進を図る。また、老人クラブや高齢者サークルへ活動の場を提供し、高齢者の交流、情報収集の拠点となっている。また、平成18年9月より指定管理者による運営を行っている。	指摘事項なし	指摘事項なし	講座の周知に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	受講者は年々増加傾向にあり、これからも指定管理者と連携をとって周知に努めたい。

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部65	敬老祝品贈呈事業	長寿課	多年にわたり、社会の進展に寄与してきた高齢者の方々に対して長寿を祝福し、感謝の意を表して9月に88歳、100歳、最高齢者へ敬老祝品を贈呈し、長寿を祝う。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	点検による指摘事項なし
内部66	救急医療情報キット 配備事業	長寿課	ひとり暮らしの高齢者等の要援護者の緊急時における救急対策として、救急隊員や病院関係者等に医療情報等を迅速・的確に伝え、適切な救急活動に役立てる。	指摘事項なし	指摘事項なし	制度の周知と対象者の把握に努めていただきたい。 救急医療活動に活用された実績の把握をしていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	広報、ちらし等で周知し、制度の周知に努めたい。 また、消防より救急搬送時にキットを活用した場合の実績については、毎月報告してもらっている。
内部67	地域支え合い体制づくり事業	長寿課	「三重県地域支え合い体制づくり事業補助金」の対象事業のひとつである「高齢者や障がい者等への支援を目的とする取組み等の先駆的・パイロット的な事業」を引き続き行う住民組織の事業に対し、三年目にあたる平成26年度も市が補助を行う。	指摘事項なし	立ち上げ支援事業である為、予定どおり平成26年度で補助廃止としていただきたい。	事業効果の把握に努めていただきたい。 地区みらい会議との調整に努めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	パイロットの事業の立ち上げを支援する補助金であるため、事業効果を把握した上で平成26年度で補助廃止をする予定である。
内部68	障害者生活環境等整備事業	障がい福祉課	障がいのある人の生活の質を高め、地域生活を支援するため、紙おむつ等支給、訪問美容サービスなどにより、生活環境等を整備する。	指摘事項なし	指摘事項なし	対象者のニーズの把握と分析に努めていただきたい。	指摘事項なし	一般財源のみの事業の為、活用できる補助メニューがないか常に情報把握に努めていただきたい。	現在は活用できる補助メニューはないが、今後も所管国庫補助金等、活用できる財源についての情報把握に努めていきたい。
内部69	勤労者ふれあい事業	商工労政課	福祉フェスティバル（同時開催伊勢市環境フェア）を開催予定。模擬店、地元企業展等を実施し、来場者約20,000人を見込んでいる。	ワークライフバランスは重要であるが、このイベントが市民にとってどの程度必要なものであるのか再考していただきたい。	指摘事項なし	模擬店等の収入を増やす努力・改善を検討していただきたい。 他市の負担金との関係（バランス）も整理していただきたい。	指摘事項なし	模擬店等の収入による自主財源のみで自主運営できるように働きかけていただきたい。	フェスティバル内容、自主財源確保等について、実行委員会事務局である（一社）伊勢志摩労働者福祉協議会と協議を行っている。
内部70	労働福祉会館整備事業	商工労政課	改修が必要な箇所が生じたため工事を実施する。 ○空調設備改修工事 ○防水改修工事	指摘事項なし	指摘事項なし	開館後は、利用状況等も検証しながら、効率的な運営をしていただきたい。 計画的に維持管理していただきたい。	自己評価にあるとおり、開館後の業務の委託をすすめていただきたい。	指摘事項なし	仮予約システムを導入し予約時の利便性の向上に努めた。また、適正に保守・点検を行い、計画的な維持管理に努めている。
内部71	勤労者持家促進資金貸付金	商工労政課	市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図っていた。平成24年度から新規受付を停止しているが、実施済みの融資の残高は預託する必要があるため、これを実施する。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業の成果を検証していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	東海労働金庫と協働し、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、その利子を10年間軽減することで勤労者の負担を緩和し持家の促進を図った。 しかし、近年の低金利を受けてこの制度を利用して融資を受ける方が年々減少（平成15年度以降新規利用1件）したため、平成24年度から新規融資分としての預託はおこなっていない。

事業総点検 点検結果－対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部72	商業活性化推進事業	商工労政課	中心市街地商店街の空店舗対策やPR支援、また、商業施策を実施することで、中心市街地商店街の空店舗解消や市内の商業活性化を図る。	指摘事項なし	市内全ての商店街の活性化を目指しているのかを考えられたい。	補助金等に頼るのではなく、商店街側が自主的に活性化に向けて取り組めるような環境の整備に市の関わり方を変えていくことも検討していただきたい。 事業の終期の設定と検証をしていただきたい。	民間委託の可能性について再考していただきたい。	商店街が独自で資金を生み出せるような仕組みを検討していただきたい。	買い物環境整備事業補助金は、商店街以外にも活用することができ、市内の商業振興を図れる。現在、商店街は空店舗が多く、自主的に活性化に向けて取り組むには資金的、人材的に厳しい状況であるため、現段階では空店舗解消を目指した事業を行っている。民間委託は、民間団体等の事業に対する補助事業であるため、現時点では、ふさわしい団体もなく民間委託を行うことは難しい。商店街が独自で資金を生み出せる仕組みづくりには、商店街自体が自主性をもって新たな事業を創出することが必要であり、現在はそのきっかけになるよう補助支援を行っている。
内部73	農業近代化資金等利子補給補助金	農林水産課	経営感覚に優れた農家の効率的かつ、安定的な農業経営実現を資金面で支援し、地域農業の振興を図る。	指摘事項なし	地域農業の担い手として活躍が期待できる中核農業者へ広く周知していただきたい。	補助金を出す以外の支援の方法についても検討していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	県、JA等と連携し事業を周知していく。
内部74	農業振興補助金	農林水産課	地域農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取組みを支援することで、農業の後継者の育成確保、生産活動強化を図る。	指摘事項なし	支援の対象となる方々への周知に努められたい。	補助金を出す以外の支援の方法についても検討していただきたい。 指導農業者・青年農業者の活動状況について把握していただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	地域に向き要望を聴取し、周知していきたい。 国や県の補助事業とのマッチングやその他情報の提供を行い、事業の振興を図る。 指導農業者・青年農業者の活動状況を引き続き把握していきたい。
内部75	特色ある農産物づくり支援事業	農林水産課	生産者自らが主体となって行う先進的または地域の特色ある農産物づくりに関する取組みを支援し、地域農業及び地域の活性化を図る。	指摘事項なし	支援の対象となる方々への周知に努めていただきたい。	補助金を出す以外の支援の方法についても検討していただきたい。 交付時の事業内容の精査と、交付後の効果の把握・検証を行っていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	地域に向き要望を聴取し、周知していきたい。 国や県の補助事業とのマッチングやその他情報の提供を行い、事業の振興を図る。 対象事業の成果を確認し効果や検証を行っていただきたい。
内部76	農地・水保全管理支払交付金事業	農林水産課	農地・農業用排水路等の保全管理・長寿命化に取り組む活動組織に対し、国、県、市が支援を行う。 負担割合 国1/2 県1/4 市1/4 共同活動（保全管理）・・・事業実施地区 21組織 向上活動（補修・更新等）・・・事業実施地区7組織	指摘事項なし	制度を周知し、対象組織が公平に手をあげられる状況にしていきたい。	支援金を交付する以外の支援の方法についても検討していただきたい。	指摘事項なし	県の負担金の期間もあることから、市としての考え方も整理しておいていただきたい。	事業範囲内での活動が困難な場合は関係機関と協議を行い指導者・材料の提供等により支援を行っていただきたい。
内部77	経営体育成基盤整備事業負担金	農林水産課	県営事業負担金 【有田地区】 工期 H17～H26 H26事業費100,000,000円 H26市負担金1,323,840円 【小俣地区】 工期 H21～H30 H26事業費220,000,000円 H26市負担金6,930,000円	指摘事項なし	指摘事項なし	年々状況も変わり現状とのずれも予想されることから、早期実現を目指して、進捗管理等を行っていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業主体である県と協議を図り、地元説明等にも加わりながら、適正な進行管理を行っていただきたい。

事業総点検 点検結果一対対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部78	農業用排水路整備事業	農林水産課	農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復を図り湛水を防ぐ。 排水路工 L=750m 合計6路線	指摘事項なし	計画的に市内全域の農業用排水路を整備すべきなのではないか。路線選定の理由を説明できるようにしておいていただきたい。	地域間のバランスや必要性の優先順位等により、計画的に更新整備を進めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	国・県と連絡を密にし、より有効な補助メニューがあれば活用していく。
内部79	環境保全林整備事業	農林水産課	三郷山及び横輪町環境林について、年次計画により間伐整備することで、環境保全林として森林のもつ機能の向上を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	自己評価にあるとおり、木材の活用を検討いただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	三重県及び森林組合等から情報を収集し間伐材の活用を検討したい。
内部80	漁業近代化資金利子補給補助金	農林水産課	東日本大震災で甚大な被害を受けた市内漁業者の漁業近代化資金特別災害資金借入れに生じる利子を補給することにより、漁業経営の再生と地域水産業の振興を図る。	指摘事項なし	周知方法や、今後の震災被害など特別なケースへの対応について、考え方を整理しておいていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし	今後、震災等の発生により漁業に甚大な被害が生じた場合、漁業者の復旧に必要な資金の借入れに生じる利子の補給を検討するとともに、実施時は漁協や金融機関を通じて漁業者に周知する。
内部81	新規就農者総合支援事業	農林水産課	新規就農者の増加及び就農後の定着を図るため、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対して給付金を給付する。	指摘事項なし	市内の農業従事者に広く事業を周知していただきたい。	事業の成果を検証し、金銭面以外で支援できることも検討していただきたい。	指摘事項なし	国の補助が終了した場合の方向性について検討しておいていただきたい。	県、JA等と連携し、対象者の存在の把握に努め、事業を周知していく。
内部82	災害に強い観光地づくり事業	観光事業課	観光客に対しての災害時体制の充実を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業の成果を次年度へ反映させていく工夫をしていただきたい。	訓練などいつまで市が関わるべきか、役割分担も整理していただきたい。 観光事業者等への委託の可能性についても検討いただきたい。	指摘事項なし	災害に強い観光地をつくるために実施した、マップ作成・避難所の見直しを受け、今までの事業内容を生かし、避難所誘導看板を設置していく。
内部83	ターゲット戦略推進事業	観光企画課	観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光旅行商品の開発、誘客、販促を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	平成17年度から開始している本事業の成果、実績を鑑みながら次年度の事業へつなげていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	毎年の実績等での成果を鑑み、観光客のニーズに沿った商品造成、販売となるよう改善を行っていききたい。
内部84	外国人観光客誘致推進事業	観光企画課	外国人観光客誘致事業として、関係各所とタイアップした誘客宣伝を行うとともに、伊勢市単体としての取り組みも始め、外国人観光客の誘致を図る。	指摘事項なし	様々な国の外国人観光客を誘致していく必要があるのではないかと。市民のメリットを考えながら、大きな偏りがないよう気をつけていただきたい。	外国には様々な地域があるため、それぞれの地域に見合った戦略を考えていく必要があるのではないかと。事業効果の把握と検証を行い、次につなげていただきたい。	広域での協働実施であるが、委託できる部分がないか検討していただきたい。	指摘事項なし	広域の取り組みとの棲み分けを考えながら、さまざまな国々に対応できるような取り組みを始めたい。広域での協働事業は官民含めた協議会である上、入札による事業の外部委託も行っている。
内部85	案内ガイド連携事業	観光事業課	「案内人の質の向上」「情報共有」「一体感の醸成」を目的とした市内の観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」の活動を支援することにより、市内の受入体制の充実を図る。	指摘事項なし	観光案内ガイド団体の連絡協議会への加入率の把握や加入促進についても検討いただきたい。	観光客等から望まれている案内を提供していくべきである。自主的な活動をしてもらえるよう、市の関わりについても見極めていただきたい。	指摘事項なし	自主財源確保の取組みも考えていただきたい。	観光客に安心して各団体が案内を受けていただけるような情報発信を行い、あくまでも各団体のサポートしていく連携・連絡会議として継続していききたい。

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部86	観光客受入環境創出事業	観光事業課	多様化する観光客ニーズを的確に捉え、観光客誘致を広域的に、効果的・効率的におこなうため、近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化し、観光客の受入体制・事業の充実を図る。	指摘事項なし	指摘事項なし	事業の成果を検証し、負担金の対象事業の考え方を整理して見直していただきたい。	指摘事項なし	各事業の負担金の額が適当か精査していただきたい。	負担する事業の検討を行った。
内部87	交通安全啓発事業	交通政策課	平成17年11月1日に施行された伊勢市交通安全条例の趣旨に沿って、伊勢市における交通事故の絶滅を図るため、重点目標を「交通死亡事故抑止対策の推進」として、各種交通安全啓発事業を行う。 ○伊勢市交通安全都市推進協議会負担金及び伊勢・度会地区交通安全対策協議会負担金	指摘事項なし	指摘事項なし	如何に効果的に市民に交通安全意識を高揚させ浸透させるかを考え、事業の内容を見直していただきたい。	指摘事項なし	協議会の決算等を確認しながら適正な負担に努めていただきたい。	交通安全の確保のためには、道路交通環境整備(ハード面)、教育・啓発活動の推進(ソフト面)、取り締まりなどさまざまな取り組みが必要であるが、教育・啓発の方法については、王道はなく、試行錯誤を繰り返して、常に効果的で、時代に即した方法を取り入れ、事業の内容を見直していただきたい。
内部88	禊橋橋梁整備事業	基盤整備課	老朽化が著しい名勝地内の禊橋の安全性を確保するため、文化財保護法に基づく文化庁長官の許可を得て、名勝地にふさわしい橋梁を整備し、安全かつ来訪者に喜ばれる景観を提供する。 全体事業 L=24m 事業年度 平成21年度～27年度 【H26事業内容】橋梁整備工事	指摘事項なし	指摘事項なし	安全性確保のためにも効率的に進めていただきたい。	指摘事項なし	自己評価に記載のとおり、補助金の採択に努めていただきたい。	早急に橋梁の安全確保が出来るよう「名勝二見浦保存管理計画運営委員会」との協議を重ねて合意形成を図り、H26年度及びH27年度に工事予算を計上する。また、財源確保のため文化庁の補助事業の申請を行った。
内部89	中村橋部17-1号線整備事業(交付金)	基盤整備課	本路線を整備することにより、内宮周辺への来訪者交通及び志摩方面の通過交通など、集中する自動車交通を分散させ、周辺地域の混雑緩和を図るものである。 全体事業 L=170m 事業年度 平成16年度～27年度 【H26事業内容】用地取得、測量・修正設計、埋設物試掘工事	指摘事項なし	指摘事項なし	円滑な事業推進の為、県等との交渉を進めていただきたい。	指摘事項なし	指摘事項なし	三重県と調整を図りながら、地元協議を行っている。また、地元要望に対応するための修正設計・測量業務費、用地費及び工事費を予算計上し事業を推進していく。
内部90	河川改良事業	基盤整備課	流下断面の不足等によって浸水被害を招いたり、河岸や河床の浸食等による人家等の災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行うことにより集中豪雨、台風時等の浸水被害や重大災害の発生を防止する。 継続 小木川、清水川、大堀川支川 新規 菱川	指摘事項なし	優先順位等を考慮しながら計画的に進めていただきたい。	長期的な安全確保、及び短時間集中豪雨への対応を検討していただきたい。	指摘事項なし	補助金の採択に努めていただきたい。	浸水被害箇所及び護岸の老朽化が著しく倒壊の恐れがある箇所を優先に行うこととした。事業計画については、トータルコストも含め検討する。また、できる限り補助金の活用に努めていく。
内部91	道路側溝等改良事業	維持課	道路機能及び排水機能の回復、生活基盤及び生活環境の向上を図るため、老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行う。	指摘事項なし	市内全域の道路が対象となることから、優先度の高いものから対応していただきたい。	市内の全道路において改良計画を立て、喫緊のものから順次整備していただきたい。	指摘事項なし	国の補助金や、交付金の活用ができないか検討していただきたい。	施設の老朽化が進んでいる箇所を優先的に工事を進め、道路機能及び排水機能の回復、生活基盤及び生活環境の向上を図る。

事業総点検 点検結果－対応状況

H25事業総点検結果

No.	小事業名称	課名称	事業要旨	点検結果 (社会的需要)	点検結果 (公平性)	点検結果 (業務改善)	点検結果 (民間委託)	点検結果 (財源確保)	事業総点検 対応状況
内部92	道路管理経費	用地課	狭あい道路(4m未満の道路)に面した土地の所有者が、建築基準法に基づき、セットバックした土地(後退用地)を市に寄付した場合、助成金及び報償金を交付するとともに、その後退用地の舗装工事を行う。	指摘事項なし	指摘事項なし	狭あい道路の解消を図るにあたり、周知などの方策も検討された。	狭あい道路の解消に向けて、民間主導の方向性にも、更に力を入れていただきたい。	補助金の確保に努めていただきたい。国庫補助がなくなった場合の対策も検討していただきたい。	狭あい道路の解消は、安心安全なまちづくりに寄与するものであり、行政の継続性という観点においても、国庫補助がなくなっても継続実施すべきものと考えている。寄付採納後の道路舗装や土地代金としての報償金の交付は行政主導とならざるを得ないが、民間主導で行なう寄付前の測量・分筆については、対象道路の要件を緩和することで助成件数を増やし、あわせて本制度の周知を図ることで、狭あい道路の解消を推進したい。
内部93	庁舎等整備経費	地域振興課 (二見)	二見総合支所地域振興課所管施設を適切に管理するための整備	指摘事項なし	指摘事項なし	維持管理のための修繕等については、必要のあるものから計画的に行い、問題箇所の改善に努めていただきたい。	指摘事項なし	内容により補助金の活用できるものがないかなど情報収集に努めていただきたい。	施設等の問題箇所の調査結果により、必要性に応じ改善策を講じるため、各年度で予算額の増減が生じるが、市民が快適に利用できるよう整備を行う。